

Labo News

らぼニュース

発 行 所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会
住 所 名古屋市中村区名駅5-16-17
花車ビル南館 〒450-0002
電 話 052-581-1013
F A X 052-586-5680
ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
取引銀行 三菱UFJ銀行 柳橋支店
普通口座731-677
発 行 人 中根生弥
編 集 人 武山純也

No.455 目次

- ◆令和元年度ベッドサイド実践講習会に参加して…………… (2)
- ◆生理検査研究班 基礎講座を終えて…… (3)
- ◆地区だより…………… (4)
- ◆2019年度
愛知県臨床検査精度管理調査報告会および
特別講演会のお知らせ…………… (6)
- ◆第24回西三河がんフォーラム …… (7)
- ◆第20回愛知県医学検査学会 …… (8)

広報部活動について

広報部長 武山 純也

日頃より愛臨技広報部事業にご協力いただき誠にありがとうございます。昨年度より広報部長を担当させていただいております、JCHO中京病院の武山純也です。

広報部では、主に会報らぼニュースと学術誌「会誌らぼ」の編集と発刊、愛臨技ホームページの運営管理を担当しております。毎月発行しております会報らぼニュースでは、日臨技・愛臨技行事の案内や参加報告、地区だより、各研究班や地区が主催する行事案内を掲載しています。愛臨技は全国的にも会員数が多く、行事も活発に開催されております。ボランティア活動や市民講座も開催しておりますので、周りの一般の方とお誘い合わせの上、是非ともご参加いただければ幸いです。また本年度より、学術誌「会誌らぼ」は愛知県医学検査学会抄録集と合併号とし発刊させていただいております。

愛臨技ホームページは、平成27年5月に現在のデザインへリニューアルし、ホームページ運営委員会委員により、適切な管理運営をおこなっております。掲載内容については随時更新させていただき、会員の皆様へ迅速に情報提供できるように努めております。特に昨今では、大雨や台風等の災害による行事開催の可否判断について、参加者の皆様へは、TOPページにあります「重要なお知らせ」にて案内を流しております。さらに、会報らぼニュースへ掲載されております愛臨技行事や各研究班の行事について、ホームページからも日時や詳細が確認することができ、行事によってはホームページからのWEB申込の場合もございます。また会報らぼニュースに掲載されていない行事もございますので、愛臨技ホームページを是非ともご活用ください。今後、愛臨技ホームページに関しましては、e-Learning、研修会等のLIVE配信を課題として、ホームページが保管されているサーバー変更を含めた検討をすすめております。

会員の皆様にとって、会報誌での魅力ある情報発信、より充実したホームページ構築を目指しておりますので、ご意見等ございましたら、気軽にご連絡いただけますと幸いです。

引き続き広報部にご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和元年度ベッドサイド実践講習会に参加して

愛知県がんセンター病院 柴田 典子

11月30日(土)～12月1日(日)の2日間、JA愛知厚生連 豊田厚生病院にて開催されたベッドサイド実践講習会に参加しました。

1日目は座学中心でした。我々臨床検査技師を取り巻く日本の医療情勢や日臨技の方向性、考え方など、意外と知らないけれど聞いてみると参考になる話を聞くことが出来ました。また薬剤師の講師による薬理の話はとても分かりやすく解説していただき、個人的にはとても参考になる講義でした。2日目の午前中は患者心理やコミュニケーションの取り方、技術などの講義とグループワークを行ないました。グループワークでは正確に伝えること、聴き取ることの難しさを実感し、伝えたつもりでも伝わっていないことが多いことから何が伝わったのかを確かめることが重要であることを再認識しました。苦情対応の方法などの紹介もあり、患者対応だけでなく、チームで業務をする際にも参考にできる内容でした。ベッドサイド機器管理では、工学士の講師から輸液ポンプ、シリンジポンプ、補助循環装置、体外式除細動器の機器の構造、使用方法などの説明を受けた後、実際に機器に触れ、トラブル時の対処方法などの実習を行いました。シリンジポンプでラインの閉塞による警報動作時の解除方法(圧抜き)をやってみた際、ラインのキャップが飛んでしまうほどの圧がかかっていることを体験し、患者の安全のために正確な解除方法、設定が重要であることを実感しました。ボディメカニクスを活かした介助方法では理学療法士の講師から身体介助する際の原則の理解、注意点を聞いた後、ベッドに寝た状態から車椅子に移乗するまでを参加者同士で実践してみました。コツを教えていただき実践してみましたが…そう簡単には動かない！看護師、理学療法士さん達の大変さを実感しました。

『ベッドサイド実践講習会』という名前のため、普段の業務で患者と接する機会も少ない自分にはあまり縁がない内容と思いながらの参加でしたが、幅広く知識と技術を得る機会となり、聞くと観るとは大違いということを実感した2日間となりました。来年も開催されると思いますので是非参加されることをお勧めします！



生理検査研究班 基礎講座を終えて

名古屋大学医学部附属病院 医療技術部 臨床検査部門 近藤 香

2019年12月8日に開催された生理検査研究班基礎講座「初心者集まれ！始めよう腹部超音波検査」に参加させていただきました。

午前の部、午後の部と分けて胆嚢、膵臓、肝臓、腎臓と腹部エコーにおいて重要な主要臓器を学ぶことができました。講義を行った後、実際にプローブを持ち実習をさせていただくことができるため、知識の定着がしやすく、大変貴重な経験をすることができました。

午前で行った胆嚢と膵臓の講義・実習では、仰臥位で見づらいことが多く、側臥位や半座位を取り入れることで臓器の描出が得やすくなる点や肋間からのアプローチにおける呼気吸気の声掛けなど実践で役立つ技術を多く学ぶことができました。午後の部では、広い肝臓をくまなく見るために必要なプローブの扇操作の固定方法を教えていただいたり、血管走行とCouinaud分類を実際のエコー画面見ながら知識を深めたりすることができました。また、背中側に近い臓器である腎臓を見るために必要な体位変換やわき腹付近に当てる時のプローブの持ち方など参考書では伝わらない細かな点を学ぶことができました。

講師の皆様方の講義や実習はとても丁寧で、初心者の私にもやさしく指導いただきました。参加者は実務経験が数か月の方や久し振りにエコーに触れる方、男女比もさまざま、参加を迷われている方はぜひ参加をお勧めできるような基礎講座でした。この基礎講座で得た知識と技術を今後も日常業務の中で生かしていきたいと思います。

最後に、このような基礎講座を開催してくださった講師や生理検査研究班の方々、関係者の皆様はこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。



江南厚生病院

JA愛知厚生連江南厚生病院 川崎 達也

JA愛知厚生連江南厚生病院は、2008年（平成20年）5月1日に尾北の地域医療を70有余年にわたり担ってきたJA愛知厚生連の愛北病院と昭和病院2つの病院（ともに江南市）を統合し誕生しました。2019年（令和元年）5月で11年目を迎え職員数も1300余名となり発展してきました。当院は愛知県尾張北部医療圏の北部地域（江南市、丹羽郡大口町・扶桑町、犬山市など）の急性期医療を担う病床数684床【一般630床、療養（地域包括ケア）54床】の病院です。専門医療体制として、こども医療センター、地域周産期母子医療センター、救命救急センター、血液細胞療法センター、循環器センター、内視鏡センター、透析センター、脊椎脊髄センター、外来化学療法センターなどを有し、積極的に高度な最先端の治療を行っており、この地域にとどまらず近隣からも多数の患者さんを受け入れています。市民病院の無い同地域において、市民病院的な役割を担っています。

ここでちょっとだけ江南市の紹介をいたします。江南市は愛知県の尾張北部に位置し名古屋市から20km圏にあり公共交通機関で20分と利便性が高く、ベッドタウンとして都市化が進み、尾張北部の主要



都市となっています。また、木曽川をはさみ岐阜県側の地域との交通結節点ともなっています。

江南市の花は『ふじ』で毎年4月下旬～5月上旬に尾張の古刹 曼陀羅寺公園内でふじ祭りが開催されます。期間中は、12種類約60本の『藤』と約200株の『ボタン』が綺麗に咲き誇り、全国から訪れる観光客を楽しませています。また祭りの期間は多くの出店も立ち並び“田楽”、“串カツ”、“ビール”をお供に花見をしてお腹も心も満たされ最高の一日を過ごすことができます。まだ足を運んだことのない方、一度は訪れてみる価値はありますよ…



当院の目の前には、名古屋観光の定番・名古屋のシンボルである「名古屋城」がそびえたっております。大阪城・熊本城と並び、日本三名城に選ばれているお城です。

名古屋城の歴史を少し紹介したいと思います。徳川家康は1610（慶長15）年、加藤清正、福島正則らに命じ名古屋城の築城を開始し、1615（慶長20）年に完成します。しかし、天守閣は1945（昭和20）年の空襲により焼失しました。戦後、市民の寄付により1959（昭和34）年鉄筋コンクリート造で今の天守閣が再建されました。現在は耐震性の問題などにより、天守閣には入ることができませんが、木造での史実に忠実な復元が計画されています。2022年末に完成予定となっていました。石垣の保全方法の問題などで、完成時期が未定となってしまう残念です。

名古屋城本丸御殿は2009（平成21）年から復元が始まり、2018（平成30）年に完成しました。本丸御殿とは、尾張藩主の住居かつ藩の政庁としての建物となります。現在本丸御殿は豪華絢爛な襖絵などと共に、美しい御殿建築を内覧することができ、一見の価値があります。

2018（平成30）年には正門・東門のそばにグルメスポットの「金シャチ横丁」がオープンしました。定番の「なごやめし」から最新の流行グルメを味わえ、さらに伝統工芸品やお土産なども買える場所となっています。当院から一番近い飲食街の事もあり、



時々飲み会に使用しております。

名古屋城はお城だけでなく、四季折々の移ろいを見せております。春は桜、夏は夜間公開、秋は紅葉、冬は雪の名城といつ行っても楽しめる場所となっております。実はあまり知られていないのですが、名古屋城はペット同伴可能となっております。本丸御殿などの建物は入場不可ですが、愛犬と城内の散歩が楽しめます。

どうでした？久しぶりに名古屋城に行ってみたくなりましたか。四季折々の花など魅力満載の名古屋城。今週末にでもお出かけしては、いかがでしょうか？なお、アクセスですが地下鉄名城線の市役所駅が最寄り駅となります。名古屋城だからと言って、名城公園駅では下車しないで下さい、思ったより遠いのでお間違えのないように。



2019年度

愛知県臨床検査精度管理調査報告会および特別講演会のお知らせ

日 時：2020年3月8日(日) 14:00～17:00

会 場：名古屋第一赤十字病院 東棟2階 内ヶ島講堂

生涯教育：基礎教科 20点

内 容：2019年度 愛知県臨床検査精度管理調査報告会および特別講演会

1) 開会式

14:00～14:15

- (1) 愛臨技会長挨拶
- (2) 来賓挨拶

2) 各検査部門別報告

14:15～15:45

- | | |
|--------------|-------------|
| (1) 事務局総括 | (6) 生理検査部門 |
| (2) 臨床化学検査部門 | (7) 輸血検査部門 |
| (3) 免疫血清検査部門 | (8) 微生物検査部門 |
| (4) 血液検査部門 | (9) 細胞検査部門 |
| (5) 一般検査部門 | (10) 病理検査部門 |

各部門から、要点を簡潔にまとめた形式で報告を行います。詳細な報告は各研究班研究会および総括集を参照してください。なお先着順となりますが、参加者には総括集を配布いたします。

3) 特別講演会

16:00～17:00

テーマ：「愛知県臨床検査精度管理調査の変遷と今後」

- (1) 医療法の一部改正対策としてのよろずセミナー開催の過程とその成果

公益社団法人 愛知県臨床検査技師会 理事 佐野 俊一

- (2) 愛臨技サーベイの変遷と今後の展望

公益社団法人 愛知県臨床検査技師会 会長 中根 生弥



主 催：愛知県臨床検査技師会
共 催：愛知県医師会・愛知県病院協会
愛知県臨床検査標準化協議会

《愛臨技生涯教育認定登録団体研究会のご案内》

第24回西三河がんフォーラム

2020年1月6日現在 正会員数 3,438名

基礎教科：20点

日時：令和2年2月19日(水) 18:30～19:30

場所：安城更生病院 2階 講堂

テーマ：『激動の肺癌薬物療法の波を乗り越なす』

講師：京都府立医科大学

呼吸器内科学 准教授 内野 順治

司会：安城更生病院

呼吸器内科 呼吸器内科診療部長

高橋 孝輔

参加費：無料

内容：当院は地域がん診療連携拠点病院として、がん治療の三大療法である手術療法、放射線治療、化学療法に力を入れています。

今回の西三河がんフォーラムは、肺癌薬物療法について京都府立医科大学の内野順治准教授より講演させていただき、西三河地区のがん診療に従事する医療者と共に肺癌薬物療法について学びます。





愛臨技創立70周年記念

第20回

The 20th AAMT CONGRESS 2020

愛知県医学検査学会

未来へ繋ぐLEGACY

検査を創る五つの輪

社会人基礎力 (Social skill)

学術研究 (Scientific study)

経営管理 (Management)

国際化 (Globalization)

協働 (Team work)

日 時

2020年7月5日 (日) 9:50~

会 場

MIDLAND HALL

MIDLAND SQUARE オフィスタワー5F

学 会 長 中井 美千代

中部労災病院 中央検査部

実行委員長 南谷 健吾

名古屋記念病院 臨床検査部

事務局長 武山 純也

JCHO中京病院 検査部

公開講演

ゲノムワイド研究から臨床応用へ

～肝炎診療の現状と今後の展開～

名古屋市立大学大学院医学研究科病態医科学 教授

名古屋市立大学病院 肝疾患センター センター長

中央臨床検査部 部長

田中 靖人 先生

主 催



公益社団法人 愛知県臨床検査技師会
担当: 尾張南地区

後 援

愛知県・名古屋市
公益社団法人 愛知県医師会
一般社団法人 愛知県病院協会